

人民币週間レポート

2026年4月17日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穂銀行

【人民元為替概況】

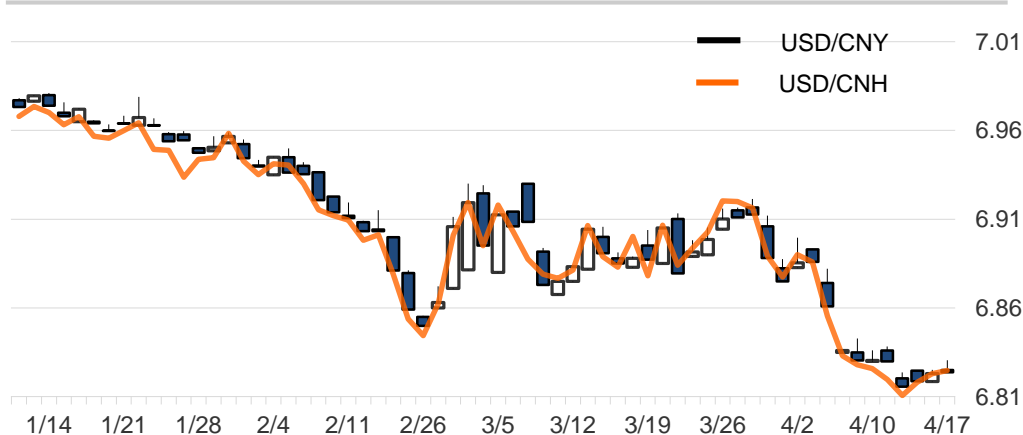
回顧: 米国とイランの直接交渉は合意に至らず、USDCNYは下げ幅を拡大

- ドル人民元 (USDCNY) は13日、6.83台後半でオープン。週末に開催された米国とイランの直接交渉は合意に至らず、アジア時間早朝こそドル高が進行する場面もみられたが上昇基調とはならず、じり安の展開となり、海外時間には一時6.83割れ水準まで下落する展開となった。14日は前日クローズ対比96bp元高の6.82台でオープン。中国貿易統計が公表されるも、為替相場への反応は限定的。海外時間にかけて軟調に推移し、6.81台半ば水準でクローズ。15日も方向感が出ず、6.81台後半から6.82台前半での小動き。米イラン停戦期限について、2週間延長が検討されていると報じられると、和平進展への期待感から終盤にかけてドル売りが入り、6.81台でクローズ。16日には中国1-3月GDP、小売売上高、固定資産投資などの複数指標が公表されるも、為替相場への影響は限定的。海外時間にかけて米株の堅調推移も後押しとなりドルが底堅く推移する流れにつれて6.82台を回復。17日の11時時点も同水準にて推移している。
- 円人民元 (JPYCNY) は13日、4.27付近でオープン。週半ばにかけては4.28-4.29台でのレンジ推移。16日午前には三村財務官からの発言を受け、介入への警戒感が高まるなか、円買いが進行する流れを受けて、4.30台を上抜ける場面もみられたが一段の上値追いはならず。その後は円安元高が進行し、17日11時時点では4.28台で推移している。今週は、中東情勢関連のヘッドラインや、本邦要人からの為替関連発言に振られる展開となった。

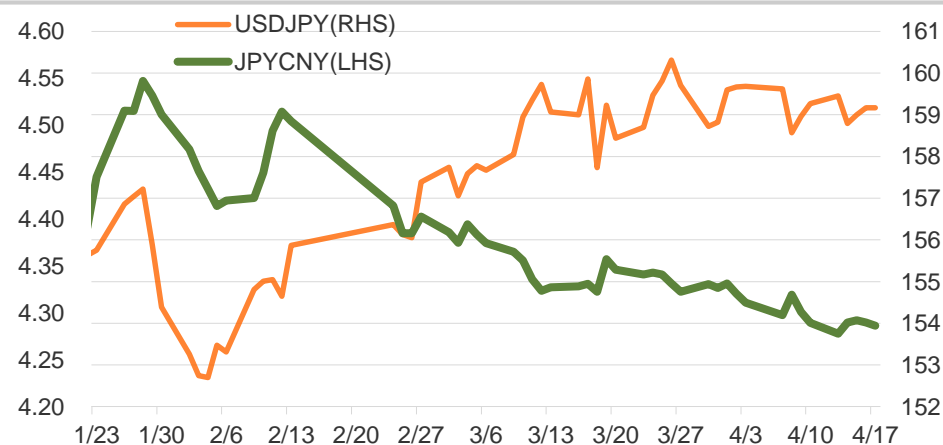
見通し: 停戦協議の進展次第も、緩やかなドル安元高基調を見込む

- USDCNYは一時6.81台までドル安元高が進行、週後半にかけてはやや反転するも下落基調が継続している。中東情勢を巡っては、米国とイランが再協議にむけて調整を進めている様子だが、事態収束への道筋は依然として遠い可能性が高い。様子見ムードながらも有事のドル買いは一服しており、緩やかにドル安元高が進行する展開を予想する。
- 月末にはFOMC、BOJなどの主要中銀イベントが開催予定。ホルムズ海峡の実質的封鎖も続き供給混乱が長期化する中、世界的に物価上昇・景気後退への警戒感が高まっている。金融政策運営において難しい舵取りが迫られる状況下、各国要人からの発言が相場の上下材料となる可能性もあり注視していきたい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



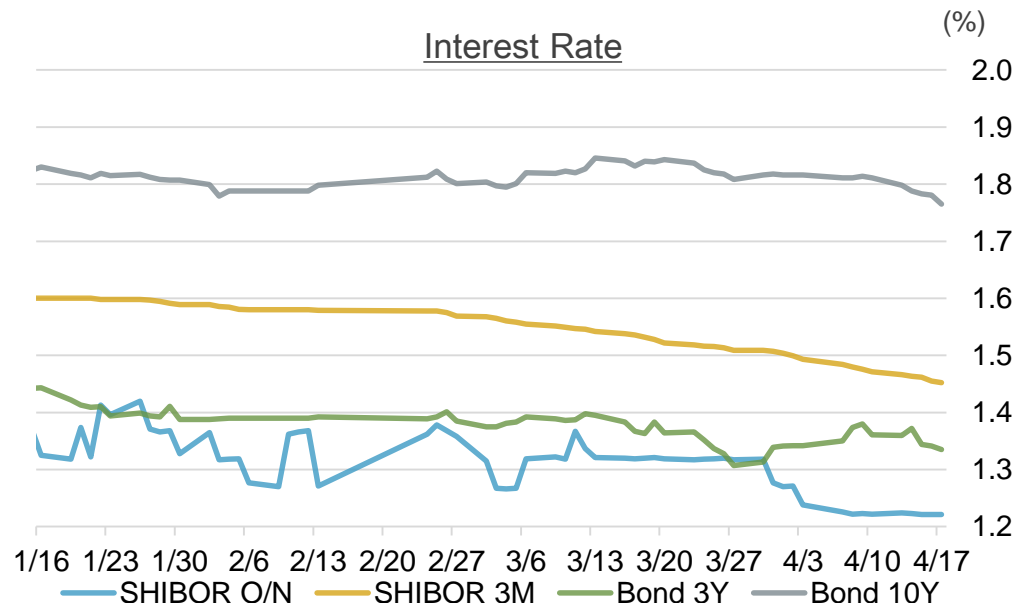
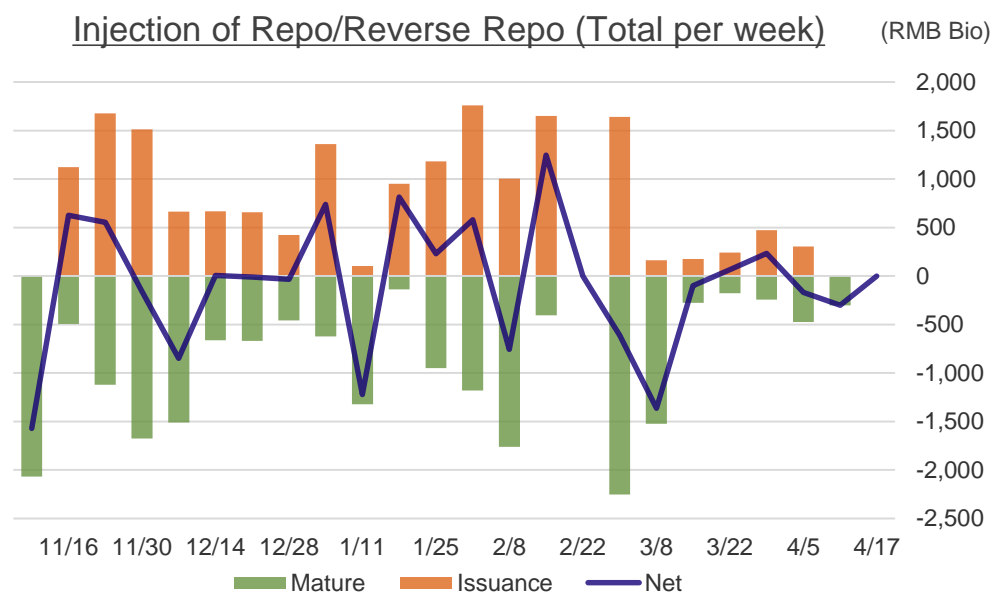
【人民元金利概況】

回顧:PBOC資金供給オペはネット吸収も、資金流動性の潤沢な状況が継続

- PBOCは7日物リバースレポにより、合計30億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで5億元の資金吸収となった。
- 短期市場は、PBOCの資金供給オペがネット資金吸収となるも、流動性は潤沢な状況が継続。O/N金利は1.2%台前半で横ばい推移。
- 債券市場は、全般に金利低下。2年債利回りは1.30%近辺、5年債利回りは1.51%近辺、10年債利回りは1.78%付近にて推移。
- 16日に公表された中国第1四半期GDPは前年同月比+5.0%と堅調な内容となるも、同日公表の3月小売売上高・固定資産投資は予想を下回る低調な結果。

見通し:来週は税期を控えており、一時的にO/N金利が上昇する可能性も

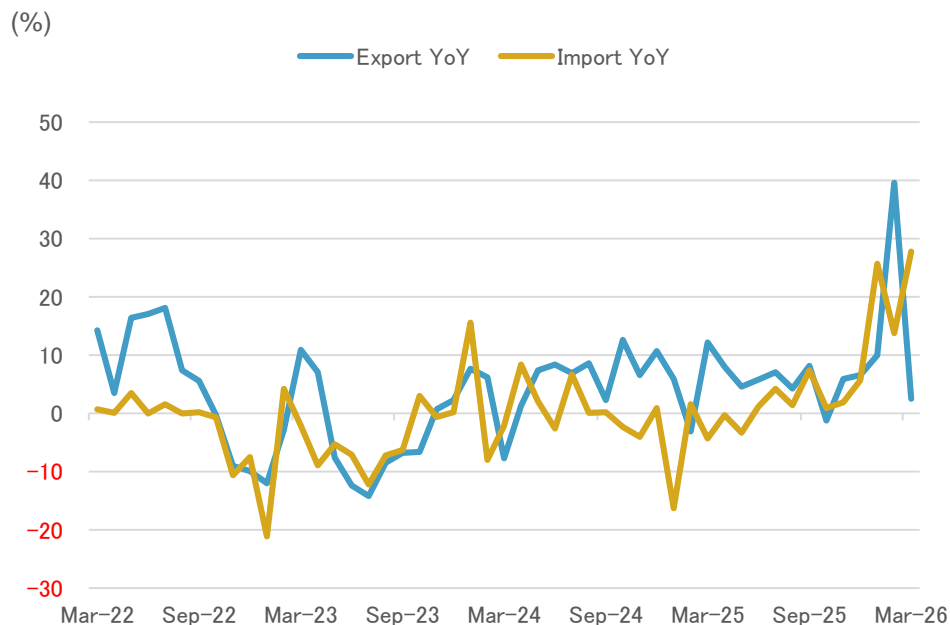
- 今週のPBOC資金供給オペはネット資金吸収となるも、安定した流動性は維持された。引き続き総じて緩和的な金融環境が継続すると見込むが、来週は税期を控えており一時的にO/N金利が上昇する可能性もあるため注意が必要。
- 債券市場については、足許中長期ゾーン中心にじりじりと金利が低下する展開。引き続き、潤沢な資金流動性と中国当局による金融緩和姿勢が下支えとなり、底堅く推移すると予想する。
- 来週は4/20に、1年物・5年物のLPRが発表予定。それぞれ市場では3.0%・3.5%の据え置きが予想されている。



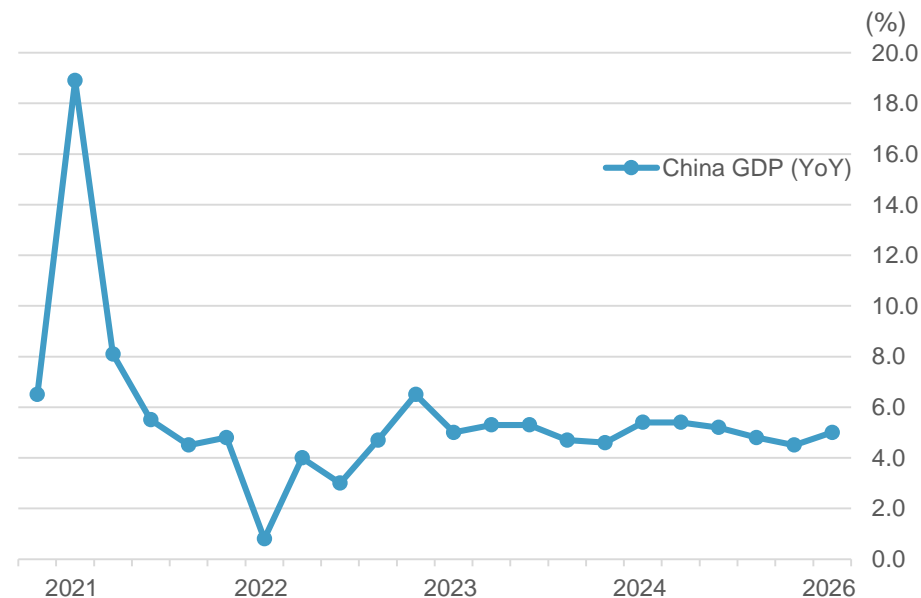
【TOPICS】 貿易統計・第1四半期GDPが公表

- 4月14日、国家統計局は輸出入統計を公表した。輸出(ドルベース)は前年同月比+2.5%(予想+8.6%、前回1-2月+39.6%)の3,210億ドル、輸入(ドルベース)は同+27.8%(予想+13.9%、前回+13.8%)の2,699億ドルとなった。
- 輸出は市場予想を下回り1-2月対比で伸びが鈍化。国・地域別では米国向けが前年同月比▲16.3%と減少した一方、EUは同+21.1%、ASEAN諸国は同+20.5%となった。輸入については、輸入額全体の約4割を占める機械・電子機器の輸入が同+24.9%と大幅な伸びをけん引した。
- 前年(2025年)との比較については、春節期間が異なることや、トランプ関税の発動を控えた駆け込み需要による輸出の伸びも大きかった反動もあり判断が難しく、次回以降の結果も含めて判断する必要がある。
- 4月16日、国家統計局は第1四半期GDPを公表。前年同期比+5.0%と市場予想(同+4.8%)を上回り、前回(第4四半期+4.5%)から持ち直し、3月に開催の全人代で設定された2026年実質GDP成長率目標(+4.5%-5.0)を達成する堅調な結果となった。
- 業種別でみると第2次産業が同+4.9%と前回(+3.4%)から加速しており、製造業の底堅さが成長率の下支えの重要な柱となっていることが示唆される結果となった。

輸出入推移(前年同月比)



China GDP (YoY)



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
4/13	6.8360	6.8380	6.8290	6.8338	6.8657
4/14	6.8204	6.8235	6.8154	6.8164	6.8593
4/15	6.8247	6.8247	6.8160	6.8185	6.8582
4/16	6.8185	6.8249	6.8164	6.8197	6.8616
4/17	6.8250	6.8302	6.8224	6.8263	6.8622

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
4/13	6.8328	6.8437	6.8167	6.8197	6.8323
4/14	6.8197	6.8207	6.8059	6.8108	6.8167
4/15	6.8108	6.8225	6.8086	6.8181	6.8162
4/16	6.8181	6.8270	6.8130	6.8229	6.8142
4/17	6.8229	6.8297	6.8206	6.8247	6.8251

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	4/13	LOW	HIGH	4/17
ON	1.2240	1.2210	~	1.2210
1M	1.4550	1.4410	~	1.4410
3M	1.4660	1.4525	~	1.4525
6M	1.4765	1.4655	~	1.4655
1Y	1.4985	1.4965	~	1.4965

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.8360	6.8380	6.8154	6.8263
100JPY/CNY	4.2791	4.3073	4.2771	4.2861
EUR/CNY	7.9862	8.0601	7.9794	8.0473
HKD/CNY	0.87281	0.87299	0.86971	0.87151
GBP/CNY	9.1576	9.2633	9.1576	9.2341

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	159.35	159.86	158.27	159.17
EUR/USD	1.1688	1.1824	1.1658	1.1781
EUR/JPY	186.45	187.95	185.89	187.50
GBP/USD	1.3430	1.3595	1.3381	1.3527
AUD/USD	0.7033	0.7197	0.6986	0.7161

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行